

資料3-2

アンケート調査（案）について

1. 目的

第4次和歌山市地域福祉計画策定（平成32年3月策定予定）にあたり、市民及び各地域で活動されている地域団体の実態や活動内容を調査して、今後の地域福祉を推進していくための基礎資料とする。

2. 調査対象と調査方法等

調査対象	団体数	調査時期（予定）
① 世論調査（市民）	2,000人	8～9月
② 各地区社会福祉協議会会長	42団体	8～11月
③ 単位老人クラブ会長	約300団体	8～11月
④ 民生委員・児童委員	約800人	8～11月
⑤ 公民館長	42団体	8～11月
⑥ 婦人会	約18団体	8～11月
⑦ つどいの家	約20団体	8～11月
⑧ 地域包括支援センター	15箇所	8～11月
⑨ 相談支援事業所	6箇所	8～11月
⑩ 地域子育て支援拠点施設	13箇所	8～11月
⑪ NPO・ボランティア団体	約500団体	8～11月
⑫ 地域包括支援センター利用者	約150人	8～11月
⑬ つどいの家利用者	約60人	8～11月
⑭ 相談支援事業所利用者	約60人	8～11月
⑮ 地域子育て支援拠点施設利用者	約200人	8～11月
⑯ 小学生アンケート	約600人	10～12月

3. 調査票（案）・

- (1) 世論調査（市民）調査票（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1ページ
- (2) 地域福祉団体・福祉の相談窓口 調査票（案）・・・・・・・・・・・・・・ 4ページ
 - 各地区社会福祉協議会会長
 - 単位老人クラブ会長
 - 民生委員・児童委員
 - 公民館長
 - 婦人会

つどいの家

地域包括支援センター

相談支援事業所

地域子育て支援拠点施設

NPO・ボランティア団体

(3) 地域の居場所・福祉の相談窓口利用者 調査票(案)・・・・・・・・・・ 12ページ

地域包括支援センター利用者

つどいの家利用者

相談支援事業所利用者

地域子育て支援拠点施設利用者

(4) 小学生アンケート 調査票(案)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20ページ

●● 和歌山市の取組みに対しての満足度・重要度についてお尋ねします。

問●● 和歌山市に住んでいて、つぎのことがらについてどのように感じていますか？

満足度と重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも言	はない あまり重要で	ない 全く重要では
産業が元氣なまち 安定した雇用を生み出す	地域産業（商工業・農林水産業）の発展	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	観光地としての魅力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	国内や国外との交流	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	雇用対策や労働環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
住みたいと選ばれる魅力があふれるまち	中心市街地の活気	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	まちなみの美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	海・山・川などの豊かな自然環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	資源ごみのリサイクル	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	生涯学習支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
育つまち 子供たちがいきいきと	子供や子育てに対する支援サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	学校・幼稚園などの教育環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	青少年の健全育成活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

回答方向 ⇒		どの程度満足していますか？					どの程度重要だと思われますか？				
		非常に満足	満足	えない どちらとも 言	不満	非常に不満	非常に重要	重要	えない どちらとも 言	あまり重要で はない	全く重要では ない
誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち	通勤・通学・買い物などの 日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	基幹道路や生活道路の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	快適で暮らしやすい住宅環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	公園や下水道などの 生活環境の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	地震や風水害などの災害に対 する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防・救急救助の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	交通安全に対する取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	暴力や犯罪に対する防犯体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消費生活相談の体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	医療・保健サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	人権が尊重される社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	男女が共生できる社会環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	高齢者・障害者に対する福祉 サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	介護保険や年金・国民健康保 険などの社会保障サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	NPOやボランティアなどの 市民活動への参加の機会	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域住民の助け合い活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
その他	市政に対する 市民参加のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	市民サービスなどの 行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

和歌山市の市政についてご意見をお聞かせください。

*****ご協力ありがとうございました*****



地域福祉団体及び福祉の相談窓口への アンケート調査

みなさまには日頃から市政に対し、格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

和歌山市では、急速な高齢化の進行や核家族世帯の増加などに対応するため、「わかやま・元気ふくし計画（第3次和歌山市地域福祉計画）」を策定し、この計画にそって各地域の福祉団体や市民の方々とともに様々な取り組みを進めてきました。

この計画は5年ごとに改定することになっており、現在、次の計画策定に向けての作業を開始したところですが、新しい計画を今より一歩進めたものとするため、今回、地域の福祉団体や相談窓口等の活動をしているみなさまへのアンケート調査を実施することにしました。

本調査でいただいたご意見等は、新しい地域福祉計画に反映させるための貴重な資料として使用させていただきますが、この計画を策定する目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

各問に対し、最もあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、（ ）内になるべく具体的にご記入ください。

また、問10、問11については、設問に対する答えを自由にお書きください。

■調査票の返送方法

記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、●月●日（●曜日）までに郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

和歌山市 福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

TEL：073-435-1063 FAX：073-435-1268

問1. 所属はどちらですか。

(○は1つ)

1. 地区社協	6. つどいの家
2. 老人クラブ	7. 地域包括支援センター
3. 民生委員・児童委員	8. 相談支援事業所
4. 公民館	9. 地域子育て支援拠点施設
5. 婦人会	10. NPO・ボランティア団体

活動内容について、お聞きします。

問2. 活動されているエリアはどちらですか。

(○はいくつでも)

エリア	地区名
1. 中心部	本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
2. 南部	雑賀、雑賀崎、和歌浦、名草、田野
3. 東部	四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
4. 東南部	岡崎、三田、安原、西山東、東山東
5. 河西部	野崎、湊、松江、楠見、貴志、木本、西脇、加太
6. 河北部	有功、直川、紀伊、川永、山口
7. その他	()

問3. 活動されているエリアの状況を、どのように感じていますか。

(それぞれ○は1つ)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
①地域の住民どうしのつながりが強い	1	2	3	4	5	6
②住民どうしの支えあいができている	1	2	3	4	5	6
③地域の活動への住民の関心が高い	1	2	3	4	5	6
④多くの人が地域活動に参加している	1	2	3	4	5	6
⑤地域の団体などが連携できている	1	2	3	4	5	6
⑥少子高齢化がすすんでいる	1	2	3	4	5	6
⑦生活にしんどさを感じる人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑧地域から孤立している人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑨福祉に関する相談窓口が充実した	1	2	3	4	5	6
⑩福祉の施設やサービスが充実した	1	2	3	4	5	6

「和歌山市地域福祉計画」について、お聞きします。

問4. 「第3次和歌山市地域福祉計画」（以下「現計画」という。）では、地域福祉を推進していくために11の取り組みの柱を立て、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が、役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。

貴団体では、これらの取り組みをどのように進めていますか。

なお、現計画は市のホームページからダウンロード（検索番号「1001706」）ができます。
(それぞれ○は1つ)

11の取り組みの柱	組んでいく	積極的に取り組んでいる	少しは取り組んでいる	あまり取り組んでいない	まったく取り組んでいない
① “困りごと” に気づき、支援につながります	1	2	3	4	
② 多様な “困りごと” に対応したサービスや活動をすすめます	1	2	3	4	
③ 権利をまもり、暮らしを高めます	1	2	3	4	
④ 健康や生きがいづくりをすすめます	1	2	3	4	
⑤ 地域福祉への理解をすすめます	1	2	3	4	
⑥ 地域福祉の担い手を増やします	1	2	3	4	
⑦ 地域福祉活動への支援を充実します	1	2	3	4	
⑧ 地域福祉をすすめるネットワークを広げます	1	2	3	4	
⑨ 地域のつながりを強くします	1	2	3	4	
⑩ 快適な生活環境をつくります	1	2	3	4	
⑪ 安全に暮らせる地域をつくります	1	2	3	4	

問5. 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

《プログラムA》 地域での学習や話しあいの推進

多くの人々が“したいこと・できること”で参加し、協働して地域福祉をすすめるためのきっかけのひとつとして、地域の課題や各々の“思い”を共有し、ともに話しあうことを通じて理解を深めながら、計画に掲げるさまざまな取り組みを具体的に推進する方策を考え、協力して実践していくよう、身近な地域で学習や話しあいをすすめます。

《プログラムB》 災害時に支援が必要な人を支える取り組み

南海・東南海地震をはじめ、大規模な自然災害などへの備えが一層重要になっています。だれもが関心をもつ“災害”をテーマとした取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進し、多くの人々の参加を得ながら、いざというときに支えあえる地域のつながりづくりや、支援が必要な人を支える体制づくりにつないでいきます。

《プログラムC》 生活困窮者への支援の推進

経済的な問題とともに、家族や地域などから孤立して生活に困窮している人などを、地域の力も活かして効果的に支援していくように、新たに始める「生活困窮者自立支援」の取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進します。

《プログラムD》 身近な相談窓口とネットワークの充実

“困りごと”に気づいたときには、早めに相談し、適切な支援を受けることができるように、その人にとって身近なところで相談でき、どこに相談しても適切な支援につながるしくみを充実します。

《プログラムE》 協働事業の担い手の養成

介護保険制度が改正されて、要支援の人の訪問介護や通所介護は、市町村が地域の状況に応じて提供することになりました。多様な担い手の参加のもとで、より地域に密着した支援を行っていくことが求められています。このように、公的なしくみと市民の主体性を活かした活動がうまく協働し、必要とされるサービスを効果的に提供する体制を構築するよう、担い手を増やします。

《プログラムF》 担い手や活動を支える体制の充実

地域福祉活動は、参加する人の主体性を大切にした活動ですが、第一歩を踏み出せるように呼びかけ、つないだり、専門的な視点で助言や支援などを行うことは、活動を継続・発展させていくうえで不可欠です。この計画を推進していくための地域福祉活動の広がりに対応し、きめ細かな支援を行っていくよう、体制の充実を図ります。

(1) 先導的に取り組む事項について、貴団体ではどのように取り組んでいますか。
(それぞれ○は1つ)

	んでいる	積極的 に取り組 んでいる	少しは 取り組 んでいる	でない	あまり 取り組 んでいない	まったく 取り組 んでいない
先導的に取り組む事項						
①《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進	1	2	3	4		
②《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1	2	3	4		
③《プログラムC》生活困窮者への支援の推進	1	2	3	4		
④《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4		
⑤《プログラムE》協働事業の担い手の養成	1	2	3	4		
⑥《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実	1	2	3	4		

(2) また、平成27年度から平成29年度にかけての実施状況はどうでしたか。
(それぞれ○は1つ)

先導的に取り組む事項

	大幅に進んでいる	少しは進んでいる	あまり進んでいない	ほとんど進んでいない	まったく進んでいない
①《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進	1	2	3	4	
②《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1	2	3	4	
③《プログラムC》生活困窮者への支援の推進	1	2	3	4	
④《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実	1	2	3	4	
⑤《プログラムE》協働事業の担い手の養成	1	2	3	4	
⑥《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実	1	2	3	4	

問6. 現計画では、市民、団体、事業者、市・関係機関等が、それぞれの特長を活かして協働し、和歌山市の地域福祉全体を効果的に推進していくことになっています。

(1) 貴団体が活動する上で、どのような団体や機関と連携していますか。
(それぞれ○は1つ)

	所属している	連絡を密に取っており、一緒に活動している	連絡を何度かしたことはあるが、一緒に活動はしていない	連絡先は知っているが、特に連絡したことはない	連絡先をまったく知らない
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1	2	3	4	5
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1	2	3	4	5
③地区社会福祉協議会	1	2	3	4	5
④地区民生委員・児童委員協議会	1	2	3	4	5
⑤ボランティアグループやNPO	1	2	3	4	5
⑥和歌山市社会福祉協議会	1	2	3	4	5
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4	5
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4	5
⑨学校、幼稚園	1	2	3	4	5
⑩公民館	1	2	3	4	5
⑪つどいの家	1	2	3	4	5
⑫地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4	5
⑬医療機関や医療専門職	1	2	3	4	5
⑭福祉に関する地域の相談機関（地域包括支援センター等）	1	2	3	4	5
⑮和歌山市役所（福祉事務所やその他の部局）	1	2	3	4	5
⑯和歌山市の専門機関（子ども総合支援センター等）	1	2	3	4	5

(2) また、貴団体が活動するうえで、今後どのような団体や機関と連携したいですか。(それぞれ○は1つ)

	所属している	今後は(今後も)一緒に活動していきたい	情報交換はしていきたい	特に連携する必要はない
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1	2	3	4
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1	2	3	4
③地区社会福祉協議会	1	2	3	4
④地区民生委員・児童委員協議会	1	2	3	4
⑤ボランティアグループやNPO	1	2	3	4
⑥和歌山市社会福祉協議会	1	2	3	4
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4
⑨学校、幼稚園	1	2	3	4
⑩公民館	1	2	3	4
⑪つどいの家	1	2	3	4
⑫地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4
⑬医療機関や医療専門職	1	2	3	4
⑭福祉に関する地域の相談機関(地域包括支援センター等)	1	2	3	4
⑮和歌山市役所(福祉事務所やその他の部局)	1	2	3	4
⑯和歌山市の専門機関(子ども総合支援センター等)	1	2	3	4

問8. 地域福祉を推進するためには、次の①～⑳について、それぞれどのように取り組んだほうがよいと思いますか。
(それぞれ〇は1つ)

	市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい	市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい	団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい
①地域での住民どうしのつながりの強化	1	2	3
②日常の困りごとを地域で支えあう活動の充実	1	2	3
③ボランティア活動やNPO活動への支援の充実	1	2	3
④さまざまな団体・機関などのネットワークの充実	1	2	3
⑤福祉に関する相談窓口の充実	1	2	3
⑥高齢者や障害者などの介護や生活支援サービスの充実	1	2	3
⑦子育てや子どもの健全育成に関する支援の充実	1	2	3
⑧虐待防止やすべての人の権利擁護の取り組みの充実	1	2	3
⑨経済的に困窮している人への支援の充実	1	2	3
⑩働く場の確保や就労のための支援の充実	1	2	3
⑪年金などの社会保障制度の充実	1	2	3
⑫健康づくりや医療の充実	1	2	3
⑬社会的に孤立した人やひきこもりの人への支援の充実	1	2	3
⑭支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実	1	2	3
⑮福祉への理解や思いやりの心を育てる取り組みの充実	1	2	3
⑯だれもが生活しやすいバリアフリーの環境づくり	1	2	3
⑰交通や買い物などの生活の利便性の向上	1	2	3
⑱住宅の確保や住環境の充実	1	2	3
⑲災害時の支えあいや防災の取り組みの充実	1	2	3
⑳犯罪や事故などのない安全なまちづくり	1	2	3

問9. この調査の結果や統計データなどをもとに、「(仮称) 地域福祉市民会議 (本年10月～12月頃)」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。

(〇は1つ)

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
----------	------------	----------

その他について、お聞きします。

問 10. 活動をするうえで、効果的だった取り組みについて、お書きください。

問 11. 地域福祉を推進するにあたり、具体的なご意見やご提案などありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。長時間のご協力、ありがとうございました。



地域の居場所や福祉の相談窓口の利用者への アンケート調査票

みなさまには日頃から市政に対し、格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

和歌山市では、急速な高齢化の進行や核家族世帯の増加などに対応するため、「わかやま・元気ふくし計画（第3次和歌山市地域福祉計画）」を策定し、この計画にそって各地域の福祉団体や市民の方々とともに様々な取り組みを進めてきました。

この計画は5年ごとに改定することになっており、現在、次の計画策定に向けての作業を開始したところですが、新しい計画を今より一歩進めたものとするため、今回、地域の居場所や福祉の相談窓口を利用するみなさまへのアンケート調査を実施することにしました。

本調査でいただいたご意見等は、新しい地域福祉計画に反映させるための貴重な資料として使用させていただきますが、この計画を策定する目的以外に使用することはありません。調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

■記入にあたってのお願い

各問に対し、最もあてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内に具体的にその内容をご記入ください。

また、問13については、ご意見やご提案などを自由にお書きください。

■調査票の返送方法

記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、●月●日（●曜日）までに郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

和歌山市 福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

TEL：073-435-1063 FAX：073-435-1268

問1. 利用された場所はどちらですか。 (○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 地域包括支援センター | 3. 相談支援事業所 |
| 2. つどいの家 | 4. 地域子育て支援拠点施設 |

あなた（利用者）自身について、お聞きします。

問2. 性別はどちらですか。 (○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3. 年齢について教えてください。 (○は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～64歳 |
| 7. 65～69歳 | 8. 70～79歳 | 9. 80歳以上 |

問4. 家族構成について教えてください。 (○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 2世代世帯 |
| 4. 3世代世帯 | 5. その他 () | |

問5. どのエリアにお住まいですか。 (○は1つ)

エリア	地区名
1. 中心部	本町、城北、広瀬、雄湊、大新、新南、吹上、砂山、今福、高松、芦原、宮前、中之島、宮北
2. 南部	雑賀、雑賀崎、和歌浦、名草、田野
3. 東部	四箇郷、宮、西和佐、和佐、小倉
4. 東南部	岡崎、三田、安原、西山東、東山東
5. 河西部	野崎、湊、松江、楠見、貴志、木本、西脇、加太
6. 河北部	有功、直川、紀伊、川永、山口
7. その他	不明な場合は町名をご記入ください ()

問6. お住まいのエリアに通算で何年お住まいですか。 (○は1つ)

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 20年未満 | 3. 20年以上 |
|---------|---------------|----------|

問7. お住まいのエリアの状況を、どのように感じていますか。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	ややそう思う	いえない どころかも	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
①地域の住民どうしのつながりが強い	1	2	3	4	5	6
②住民どうしの支えあいができている	1	2	3	4	5	6
③地域の活動への住民の関心が高い	1	2	3	4	5	6
④多くの人々が地域活動に参加している	1	2	3	4	5	6
⑤地域の団体などが連携できている	1	2	3	4	5	6
⑥少子高齢化がすすんでいる	1	2	3	4	5	6
⑦生活にしんどさを感じる人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑧地域から孤立している人が増えた	1	2	3	4	5	6
⑨福祉に関する相談窓口が充実した	1	2	3	4	5	6
⑩福祉の施設やサービスが充実した	1	2	3	4	5	6

「和歌山市地域福祉計画」について、お聞きします。

問8. 「第3次和歌山市地域福祉計画」(以下「現計画」という。)では、地域福祉を推進していくために11の柱をたて、それらを市民、団体、事業者、市・関係者等が役割を分担しながら協働して進めていくことが書かれています。これらの11の取り組みの進み具合について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ○は1つ)

	大 幅 に 進 ん で い る	少 し は 進 ん で い る	あ ま り 進 ん で い な い	ま っ た く 進 ん で い な い
11の取り組みの柱				
①“困りごと”に気づき、支援につながります	1	2	3	4
②多様な“困りごと”に対応したサービスや活動をすすめます	1	2	3	4
③権利をまもり、暮らしを高めます	1	2	3	4
④健康や生きがいづくりをすすめます	1	2	3	4
⑤地域福祉への理解をすすめます	1	2	3	4
⑥地域福祉の担い手を増やします	1	2	3	4
⑦地域福祉活動への支援を充実します	1	2	3	4
⑧地域福祉をすすめるネットワークを広げます	1	2	3	4
⑨地域のつながりを強くします	1	2	3	4
⑩快適な生活環境をつくります	1	2	3	4
⑪安全に暮らせる地域をつくります	1	2	3	4

問9. 現計画では、地域福祉の推進について、特に次のA～Fのプログラムを先導的に取り組む事項として設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。

《プログラムA》 地域での学習や話しあいの推進

多くの人々が“したいこと・できること”で参加し、協働して地域福祉をすすめるためのきっかけのひとつとして、地域の課題や各々の“思い”を共有し、ともに話しあうことを通じて理解を深めながら、計画に掲げるさまざまな取り組みを具体的に推進する方策を考え、協力して実践していくよう、身近な地域で学習や話しあいをすすめます。

《プログラムB》 災害時に支援が必要な人を支える取り組み

南海・東南海地震をはじめ、大規模な自然災害などへの備えが一層重要になっています。だれもが関心をもつ“災害”をテーマとした取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進し、多くの人々の参加を得ながら、いざというときに支えあえる地域のつながりづくりや、支援が必要な人を支える体制づくりにつないでいきます。

《プログラムC》 生活困窮者への支援の推進

経済的な問題とともに、家族や地域などから孤立して生活に困窮している人などを、地域の力も活かして効果的に支援していくように、新たに始める「生活困窮者自立支援」の取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進します。

《プログラムD》 身近な相談窓口とネットワークの充実

“困りごと”に気づいたときには、早めに相談し、適切な支援を受けることができるように、その人にとって身近なところで相談でき、どこに相談しても適切な支援につながるしくみを充実します。

《プログラムE》 協働事業の担い手の養成

介護保険制度が改正されて、要支援の人の訪問介護や通所介護は、市町村が地域の状況に応じて提供することになりました。多様な担い手の参加のもとで、より地域に密着した支援を行っていくことが求められています。このように、公的なしくみと市民の主体性を活かした活動がうまく協働し、必要とされるサービスを効果的に提供する体制を構築するよう、担い手を増やします。

《プログラムF》 担い手や活動を支える体制の充実

地域福祉活動は、参加する人の主体性を大切にした活動ですが、第一歩を踏み出せるように呼びかけ、つないだり、専門的な視点で助言や支援などを行うことは、活動を継続・発展させていくうえで不可欠です。この計画を推進していくための地域福祉活動の広がりに対応し、きめ細かな支援を行っていくよう、体制の充実を図ります。

先導的に取り組む事項の進み具合について、あなたはどのように思っていますか。

(それぞれ○は1つ)

先導的に取り組む事項	で い る	大 幅 に 進 ん	で い る	少 し は 進 ん	で い ない	あ ま り 進 ん	ん で い ない	ま っ た く 進 ん
①《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進	1		2		3		4	
②《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み	1		2		3		4	
③《プログラムC》生活困窮者への支援の推進	1		2		3		4	
④《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実	1		2		3		4	
⑤《プログラムE》協働事業の担い手の養成	1		2		3		4	
⑥《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実	1		2		3		4	

問 10. 現計画では、市全体の地域福祉を推進していくための取り組みを市民、団体、事業者、市・関係者が役割分担しながら協働して展開していくことになっています。

(1) どのような団体の活動に参加していますか。
(それぞれ○は1つ)

	現 在 、 活 動 に 参 加 し て い る	今 は 活 動 に 参 加 し て い ない が 、 活 動 に 参 加 し た こ と が あ る	活 動 に 参 加 し た こ と は な い	内 容 は 知 っ て い る が 、	内 容 も 連 絡 先 も 知 ら な い			
①同じ地域の自治会、婦人会、老人会、子ども会などの団体	1		2		3		4	
②他の地域の自治会やその他の地域の団体	1		2		3		4	
③地区社会福祉協議会	1		2		3		4	
④地区民生委員・児童委員協議会	1		2		3		4	
⑤ボランティアグループやNPO	1		2		3		4	
⑥和歌山市社会福祉協議会	1		2		3		4	

(2) どのような事業所・施設等を利用していますか。
(それぞれ○は1つ)

	現在、 利用している	今は利用していないが、 以前に利用したことがある	内容は知っているが、 利用したことはない	内容も連絡先も知らない
⑦福祉施設・保育所・認定こども園・福祉サービスの事業所	1	2	3	4
⑧福祉以外の事業所や企業	1	2	3	4
⑨公民館	1	2	3	4
⑩つどいの家	1	2	3	4
⑪地域子育て支援拠点施設	1	2	3	4

(3) どのような市・関係機関等を相談窓口として利用
していますか。
(それぞれ○は1つ)

	現在、 利用している	今は利用していないが、 以前に利用したことがある	内容は知っているが、 利用したことはない	内容も連絡先も知らない
⑫医療機関や医療専門職	1	2	3	4
⑬福祉に関する地域の相談機関(地域包括支援センター等)	1	2	3	4
⑭和歌山市役所(福祉事務所やその他の部局)	1	2	3	4
⑮和歌山市の専門機関(子ども総合支援センター等)	1	2	3	4

問 11. 地域福祉を推進するため、次の①～⑳についてどのように取り組んだほうがよいと思いますか。

(それぞれ○は1つ)

	市・関係機関が重点的に取り組んだ方がよい	市民がもっと主体的に取り組んだ方がよい	団体・事業者等がもっと積極的に取り組んだ方がよい
①地域での住民どうしのつながりの強化	1	2	3
②日常の困りごとを地域で支えあう活動の充実	1	2	3
③ボランティア活動やNPO活動への支援の充実	1	2	3
④さまざまな団体・機関などのネットワークの充実	1	2	3
⑤福祉に関する相談窓口の充実	1	2	3
⑥高齢者や障害者などの介護や生活支援サービスの充実	1	2	3
⑦子育てや子どもの健全育成に関する支援の充実	1	2	3
⑧虐待防止やすべての人の権利擁護の取り組みの充実	1	2	3
⑨経済的に困窮している人への支援の充実	1	2	3
⑩働く場の確保や就労のための支援の充実	1	2	3
⑪年金などの社会保障制度の充実	1	2	3
⑫健康づくりや医療の充実	1	2	3
⑬社会的に孤立した人やひきこもりの人への支援の充実	1	2	3
⑭支援が必要な人を身近なところで発見する取り組みの充実	1	2	3
⑮福祉への理解や思いやりの心を育てる取り組みの充実	1	2	3
⑯だれもが生活しやすいバリアフリーの環境づくり	1	2	3
⑰交通や買い物などの生活の利便性の向上	1	2	3
⑱住宅の確保や住環境の充実	1	2	3
⑲災害時の支えあいや防災の取り組みの充実	1	2	3
⑳犯罪や事故などのない安全なまちづくり	1	2	3

問 12. この調査の結果や統計データなどをもとに、「(仮称) 地域福祉市民会議 (本年 10 月～12 月頃)」を開催する予定です。この会議に参加したいと思いますか。

(○は1つ)

1. 参加したい	2. 参加したくない	3. わからない
----------	------------	----------

その他について、お聞きします。

問 13. 地域福祉を推進するにあたり、具体的なご意見やご提案などありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。長時間のご協力、ありがとうございました。



地域福祉についてのアンケート



和歌山市では、だれもが住みなれた場所で安心して暮らせるように、みんながお互いに協力をし、助け合っていくために必要なことは何かということを考えて、『和歌山市地域福祉計画』という計画を作りました。

計画ができてから4年がたつ来年、この計画を見直すことになりました。見直しにあたっては、この計画を作ったときと同じように、できるだけ多くの和歌山市民に日頃から思っていることを聞く必要があります。

今回は、和歌山市の小学生児童を代表して、みなさんに日頃から思っていることを教えてもらいたいと思っています。

これからの和歌山市をもっとすばらしい住みよいまちにするために、みなさんの意見を参考にさせていただきます。

これは、テストではありません。みなさんが思ったとおりに、アンケートに教えてください。

和歌山市役所

福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

あなたのことについて、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問1. あなたの性別は、どちらですか。(どちらかに○をしてください)

1. 男

2. 女

あなたの普段の生活について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問2. あなたは、放課後、何をして過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 自宅や友達の家で遊んでいる

5. 塾や習い事に行っている

2. 外で遊んでいる

6. 学校で過ごしている

3. 自宅で勉強している

7. その他()

4. 家の手伝いや留守番をしている

(すべての方にお聞きします。)

問3. あなたは、どこで遊ぶことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 自宅

8. 学校

2. 近所の通路・道路

9. スポーツ広場・体育館

3. 空き地・原っぱ

10. スーパーマーケット・ショッピングモール

4. 公園

11. ゲームセンター

5. 友達の家

12. その他()

6. 親戚の家

13. ほとんど遊ばない

7. 祖父・祖母の家

(すべての方にお聞きします。)

問4. あなたは、主にだれと遊ぶことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 学校の友達 | 6. 近所のお年寄り |
| 2. 学校以外の友達 | 7. ペット(動物) |
| 3. 兄弟姉妹 | 8. 一人で遊ぶ |
| 4. 親戚 | 9. その他() |
| 5. 祖父・祖母 | |

(すべての方にお聞きします。)

問5. あなたは、家でどのようなお手伝いをしていますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 洗濯 | 7. おつかい・買い物 |
| 2. 掃除 | 8. 兄弟姉妹の世話 |
| 3. 食事の準備 | 9. 祖父・祖母の手助け |
| 4. 食事のあとかたづけ | 10. 動物・植物の世話 |
| 5. 風呂の準備 | 11. その他() |
| 6. ごみ捨て | 12. 特にお手伝いはしない |

(すべての方にお聞きします。)

問6. あなたは、最近どのような悩みをもっていますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 勉強のこと | 8. 自分の性格のこと |
| 2. 友達のこと | 9. 自分の体のこと |
| 3. 学校のこと | 10. 将来のこと |
| 4. 親のこと | 11. 塾・習い事のこと |
| 5. 兄弟姉妹のこと | 12. 異性のこと |
| 6. 祖父・祖母のこと | 13. その他() |
| 7. 近所の人のこと | 14. 特に悩みごとはない |

(すべての方にお聞きします。)

問7. あなたは、悩みがある場合、主にだれに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | | |
|---------|-------------|----------------|
| 1. 母親 | 5. 祖父 | 9. その他 () |
| 2. 父親 | 6. 友達 | 10. 相談できる人はいない |
| 3. 兄弟姉妹 | 7. 学校の先生 | 11. 相談しない |
| 4. 祖母 | 8. 塾・習い事の先生 | |

(すべての方にお聞きします。)

問8. あなたは、近所の大人の人たちと出会ったとき、あいさつをするように心がけていますか。(ひとつだけに○をしてください)

- | |
|------------------|
| 1. 自分からするようにしている |
| 2. 大人からされたら、している |
| 3. ほとんどしていない |
| 4. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問9. あなたは、事故(交通事故や水の事故など)にあいそうになったり、不審な人物を見かけたりするなど、こわい思いをしたことがありますか。あった場合、それはどのような場所でしたか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 通学路 | 7. ため池・用水路 |
| 2. 塾や習い事の行き帰りの途中 | 8. 学校 |
| 3. 車の多く通る道路 | 9. スーパーマーケット・ショッピングモール |
| 4. 駅 | 10. ゲームセンター |
| 5. 公園・空き地 | 11. こわい思いをしたことがない |
| 6. 海・川・山 | 12. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問 10. あなたは、近所の「きしゅう君の家」を知っていますか。

(ひとつだけに○をしてください)

1. 知っている

2. 知らない



緊急のときに子どもが助けを求めることができる「きしゅう君の家」。

これは特別な施設ではなく、この制度に協力するコンビニエンスストアや一般家庭の地域住民が、犯罪に巻き込まれそうな子どもを保護し、110番通報する仕組みです。

他の人との助け合いや支え合いについて、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問 11. あなたは、バスや電車、階段などで、高齢者の方や障害者の方に席をゆずったり、荷物を持つなどの行為をしたことがありますか。

(ひとつだけに○をしてください)

1. している

4. そういう場面にあつたことがない

2. たまにしている

5. その他

3. していない → 問 12 へ ()

(問 11 で「3」を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は問 13 へ)

問 12. その理由は何ですか。(ひとつだけに○をしてください)

1. はずかしいから

4. おせっかいになるような気がするから

2. 面倒だから

5. どのようにしてよいかわからないから

3. 特に理由はない

6. その他 ()

(すべての方にお聞きします。)

問 13. あなたは、以下のマークを知っていますか。

(ひとつだけに○をしてください)

①マタニティマーク	②ヘルプマーク	③耳マーク
1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない	1. 知っている 2. 知らない
 <p>「妊産婦」を表すマークです。</p>	 <p>「外見から分からなくても助けを必要としている方」を表すマークです。</p>	 <p>「耳が不自由な方」を表すマークです。</p>

(すべての方にお聞きします。)

問 14. あなたは、どのようなボランティア活動をしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 年下の子どもたちの世話をする活動
2. 高齢者の方のお世話をする活動
3. 障害者の方のお世話をする活動
4. 駅や広場などで募金を集める活動
5. 木を植える、魚を放流するなどの自然を守る活動
6. 近所のごみ拾いをする活動
7. 祭りや行事のお手伝いをする活動
8. 外国の子どもたちと交流を行う活動
9. 被災地を訪問したり、お手伝いに行く活動
10. その他 ()
11. ボランティア活動をしたことがない → 問 16 へ

(問 14「11」以外を選んだ方にお聞きします。)

問 15. ボランティア活動をしたとき、どんな気持ちになりましたか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 人や社会のためになっている感じがして気持ちよかった
2. 日頃できないいろいろな経験ができて楽しかった
3. みんなと協力して一つのことをやりとげることができてうれしかった
4. 友達や知り合いができてうれしかった
5. 気づかなかったことや知らなかつたことがたくさんあって、おどろいた
6. 初めてするようなことや知らない人がたくさんいて、きんちょうした
7. 参加しないとわからない苦労ががたくさんあって、しんどかつた
8. あまり楽しいとは思わなかつた
9. その他 ()

(すべての方にお聞きします。)

問 16. あなたは、今後どのようなボランティア活動をしてみたいですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 年下の子どもたちの世話をする活動
2. 高齢者の方のお世話をする活動
3. 障害者の方のお世話をする活動
4. 駅や広場などで募金を集める活動
5. 木を植える、魚を放流するなどの自然を守る活動
6. 近所のごみ拾いをする活動
7. 祭りや行事のお手伝いをする活動
8. 外国の子どもたちと交流を行う活動
9. 被災地を訪問したり、お手伝いに行く活動
10. その他 ()
11. ボランティア活動をしてみたいと思わない → 問 17 へ

(問 16 で「11」を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は問 18 へ)

問 17. その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 勉強や塾で時間がないから | 4. きっかけがないから |
| 2. 親がだめだと言うから | 5. 関心がないから |
| 3. 一緒に活動する友達がないから | 6. その他 () |

(すべての方にお聞きします。)

問 18. 地域での子ども会やお祭りなどの行事に参加していますか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 子ども会の行事に参加している |
| 2. 地域のお祭りに参加している (夏祭り、秋祭りなど) |
| 3. 餅つき大会に参加している |
| 4. その他 () |
| 5. 何も参加していない |

防災について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問 19. あなたは、防災について、家族で話し合ったことはありますか。あった場合、どのような内容ですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

- | |
|------------------------------|
| 1. 家族で集合する場所や連絡先の確認 |
| 2. 飲料水や食料などの非常用持出品の準備 |
| 3. 学校や公園などの避難場所の確認 |
| 4. 崖崩れや川の氾濫などが起こるような危険な場所の確認 |
| 5. 家の近所で行われている防災訓練への参加 |
| 6. その他 () |
| 7. 特に話し合ったことはない |

和歌山市について、お聞きします。

(すべての方にお聞きします。)

問 20. あなたは、和歌山市のどのようなところが好きですか。

(あてはまるものすべてに○をしてください)

1. 山や海などの自然が多い
2. 気候がよい
3. 自然のおいしい食べ物が多い
4. お城や動物園などの観光施設がある
5. お店が多く、生活に便利
6. 徒歩・自転車・車椅子などで通りやすいよう、道路が整備されている
7. 公園や広場など遊べるところが多い
8. まちがきれい
9. 楽しい行事や祭りがある
10. 親切な人が多い
11. その他 ()
12. 特に好きなどころはない

